



「医療専攻」たより

新潟県立小出高等学校 進路指導部

Vol.4 令和6年9月2日

8月22日(木)の午後、2年の医療専攻選択者27名で、高度医療について理解を深め、医療人として自己の将来像をより明確にする目的で魚沼基幹病院の見学に行ってきました。

鈴木榮一病院長より（一部抜粋） 魚沼基幹病院は、地域の高度医療・救急医療を担うという機能・役割があり、それを提供するために、非常にたくさんの職種職員が院内で働いています。現代の医療では、多職種連携がその基本となっています。病院見学で様々な職種が働いていることを体験していただき、医療にさらに関心を持って、将来皆さんが選択する仕事のきっかけにしてもらえればと思います。

【講義1】 救命救急センターについて

看護師とは（仕事、やりがい）、三次救急について、魚沼基幹病院の役割など

【講義2】 臨床検査科について

臨床検査とは、科の概要・特色、生理検査・病理検査部門についてなど

【講義3】 リハビリテーション技術科について

リハビリの役割、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の業務など

【講義4】 栄養管理科について

多職種連携、チーム医療について、多職種の具体的な取り組みについて、治療食の紹介など



- 院内見学 ① ヘリポート→リハビリ→手術室・ACU→検査科→放射線科→東7病棟→多目的ホール
② ヘリポート→東7病棟→リハビリ→手術室・ACU→検査科→放射線科→多目的ホール



ヘリポート



リハビリ



検査室



放射線科



東7病棟

生徒の感想（一部抜粋）

- ・院内見学で、ヘリポートに行けたことはすごく貴重な体験だった。
- ・自分の将来の夢を選ぶ材料になるよいお話が聞けてよかった。
- ・基幹病院が新潟県の医療施設でどのような立場にあるのかが知ることができてよかった。
- ・実際に医療現場に足を運んでみて、自分が想像していたことよりも色々なことをしていて驚いた。
- ・将来看護師になり、地元である基幹病院で働くことになったら、地域に貢献できると思った。
- ・患者さんとのコミュニケーションがどの職種でも大切で、チーム医療体制で行っていることを知った。
- ・1次から3次救急までの患者さんを受け入れることができ、オールラウンドに行っているため患者さんが行きやすい病院となっていることが分かった。目指した理由を大切に将来について学んでいきたいと思った。